	高船高	等専門学校	交 開講年度	平成30年度(2	2018年度)	授業和	引目 .	プログラミング	 グ演習 T
科目基础		() () ()	×   1/15/11/2	1 12000 1 1200	2010 1/2/	1221	<u> </u>		<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
科目番号		0011			科目区分	車	 門 / 必修	ξ.	
授業形態 講義						履修単位: 1			
開設学科電子制御			工学科		2				
開設期 前期		<u> </u>	•		対象学年 2   週時間数 2				
		MC言語/課題プリン	C言語/課題プリント						
担当教員		綿崎将		•					
到達目	=	1::							
(1) 構造( (2) フロ- (3) 整数型	化プログラーチャー 型、浮動/	ラミング(連接 トによる表現 い数点型、文 うことができ	き、分岐、繰り返し) ができる。 字、配列について理 る。	が理解と応用できる 解と応用できる。	3.				
ルーブ!	リック								
			理想的な到達し	/ベルの目安	標準的な到達レイ	ベルの目安		未到達レベルの	 ·目安
評価項目1			構造化プログラ 、プログラムか	ラミングが理解でき ド作成できる。	分岐と繰り返しの違いが分かり、 利用できる。		分岐と繰り返し ない。	の違いが理解でき	
評価項目2			分岐と繰り返し いるフローチャ とができる。	が同時に使われて ートを自ら書くこ	分岐と繰り返しが同時に使われて いるフローチャートが理解と応用 できる。			分岐と繰り返し いるフローチャ い。	が同時に使われてートが理解できな
評価項目3			整数型、浮動/ 列を的確に使い とができる。	、数点型、文字、配 N分けて利用するこ	整数型、浮動小数点型、文字、配 列の違いを理解と応用できる。			整数型、浮動小列を的確に使い ない。	数点型、文字、配 分けることができ
評価項目4				各データタイプの sる。	配列と変数の違い 切に使用できる。	ハが理解で	き、適	配列を適切に使	用できない。
学科の発	到達目標	原項目との	関係						
教育方法	<del></del> 法等								
授業の進 注意点	め方・方	法 教科書 。課題	プログラミングに関れ 科目では、情報処理 題を解決能力を習得 。③本演習科目は、 によって得た知識を の内容は、各講義毎 を使用してパソコン	元に、パソコンを用 に配布する。	いて実際にコンパ	イルするこ	とで、ス	プログラムの動作	
授業計画	画	1, ====		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			-,-,-		
<u> </u>		週	授業内容			调ごとの至	達日標		
				88		標準入出力、コンパイル、実行が理解できる			
		1週	プログラミング入		printf関数の基本的な使い方が理解できる				
		2週	プログラミング入	門		int型の定数、int型の変数と宣言が理解できる			
		3週	プログラミング入	門		scanf関数の基本的な使い方ができる 簡単な計算と計算結果の表示ができる			
	1stQ	4週	データの型と四則			間甲な計算と計算結果の表示ができる 2項演算子と単項演算子、剰余が使える			
						if else文とフローチャートが理解できる			
		5週	データの型と四則	<b>演</b> 算		IT EISE V C	フロー	チャートが理解で	える
								チャートが理解で 寅算子が理解でき	える
		6週	データの型と四則	演算		等価演算子 論理和と論 switch文を	~と関係 ・ ・ ・ ・ 理解し	寅算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を解	える きる きる 軽決に応用できる
		6週 7週	データの型と四則繰り返し	演算		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフロ	<sup>™</sup> と関係	寅算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を解 ートが理解し、原	える ききる きる 軽決に応用できる 5用できる
前期				演算		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフロ while文と	と関係 建積が 理解し コーチャ フローチ	寅算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を解	える きる 軽決に応用できる 応用できる 、応用できる
前期		7週	繰り返し	演算		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフロ while文と for文とフロ	と関係が理様が理解し コーチャフローチ コーチャ	寅算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を所 ートが理解し、原 デャートが理解し、原	える きる 軽決に応用できる 応用できる 、応用できる
前期		7週 8週	繰り返し			等価演算子 論理和と講 switch文を do文とフE while文と for文とフE 多重ルーフ	でと関係が 理積が コーチャフローチ コーチャ コーチャ (全フロ・ (条件分)	演算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を射 ートが理解し、ル ・ヤートが理解し、ル ートが理解し、ル ーチャートが理解	える きる 軽決に応用できる 応用できる 、応用できる
前期		7週 8週 9週	繰り返し 繰り返し 繰り返し	ング		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフに while文とフ for文とフに 多重ルーフ 繰り返しと 繰り返しと	と関係 理積が コーチャフローチャ コーチャローチャー (条件) (条件分)	演算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を ートが理解し、ル ヤートが理解し、ル ートが理解し、ル ーチャートが理解 岐の組み合わせを	える きる きる 解決に応用できる 応用できる 、応用できる できる なできる
前期	2ndQ	7週 8週 9週 10週 11週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ	ング		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフに while文と for文とフに 多重ルーフ 繰り返しと が理解でき	と関係 理積が コーチャフローチャ コーチャローチャー (条件) (条件分)	演算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を ートが理解し、ル ヤートが理解し、ル ートが理解し、ル ーチャートが理解 岐の組み合わせを	える きる きる 解決に応用できる 応用できる 、応用できる を用できる な用できる な用できる ないたプログラム
前期	2ndQ	7週 8週 9週 10週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ	ング		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフに while文とフ for文とフに 多重ルーフ 繰り返しと 繰り返しと	と関係 理積が コーチャフローチャ コーチャローチャー (条件) (条件分)	演算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を ートが理解し、ル ヤートが理解し、ル ートが理解し、ル ーチャートが理解 岐の組み合わせを	える きる きる 解決に応用できる 応用できる 、応用できる を用できる な用できる な用できる
前期	2ndQ	7週 8週 9週 10週 11週 12週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ	ング		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフに while文とフ for文とフに 多重ルーフ 繰り返しと 繰り返しと	と関係 理積が コーチャフローチャ コーチャローチャー (条件) (条件分)	演算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を ートが理解し、ル ヤートが理解し、ル ートが理解し、ル ーチャートが理解 岐の組み合わせを	える きる きる 解決に応用できる 応用できる 、応用できる を用できる な用できる な用できる ないたプログラム
前期	2ndQ	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ	ング		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフに while文とフ for文とフに 多重ルーフ 繰り返しと 繰り返しと	と関係 理積が コーチャフローチャ コーチャローチャー (条件) (条件分)	演算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を ートが理解し、ル ヤートが理解し、ル ートが理解し、ル ーチャートが理解 岐の組み合わせを	える きる きる 解決に応用できる 応用できる 、応用できる を用できる な用できる な用できる ないたプログラム
前期	2ndQ	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ	ング		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフに while文とフ for文とフに 多重ルーフ 繰り返しと 繰り返しと	と関係 理積が コーチャフローチャ コーチャローチャー (条件) (条件分)	演算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を ートが理解し、ル ヤートが理解し、ル ートが理解し、ル ーチャートが理解 岐の組み合わせを	える きる きる 解決に応用できる 応用できる 、応用できる を用できる な用できる な用できる ないたプログラム
		7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ	ング		等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフに while文とフ for文とフに 多重ルーフ 繰り返しと 繰り返しと	と関係 理積が コーチャフローチャ コーチャローチャー (条件) (条件分)	演算子が理解でき 理解できる 、実際の問題を ートが理解し、ル ヤートが理解し、ル ートが理解し、ル ーチャートが理解 岐の組み合わせを	える きる きる 解決に応用できる 応用できる 、応用できる を用できる なできる と用いたプログラム
		7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ	ング	態度	等価演算 論理和文 do文とフロット for文 型 り変解の の変解である。 がはたりでする。 がはたりでする。 がはたりでする。 がはたりでする。 の文とフロット の文とフロット の文とフロット の文とフロット の文とフロット の文とのできる。 ので。 のできる。 のでを。 のでを。 のできる。 のできる。 ので。 のでを。 のでを。 のでを。 のでを。 のでで。 のでで。 のでで。 のでを、 のでで。 のでで。 の	と関係 注 は	演算子が理解できます。 実際の問題を制 ートが理解し、 「ヤートが理解し、 「ヤートが理解し、 「ーチャートが理解し、 「の組み合わせを関する。 しょう はい	える ききる きる 解決に応用できる 応用できる 応用できる を用できる を用いたプログラム
評価割る		7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ	ング ング	態度	等価演算子 論理和と論 switch文を do文とフに while文とフ for文とフに 多重ルーフ 繰り返しと 繰り返しと	と関係 注 は	演算子が理解できる、実際の問題を制一トが理解し、「ヤートが理解し、「ヤートが理解し、「カートが理解し、「カートが理解し、「カート・カートが理解」での組み合わせを使の組み合わせを基め、	える きさる きる 解決に応用できる 応用できる 応用できる を用できる を用いたプログラム を用いたプログラム
評価割る総合評価	合割合	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ 構造化プログラミ	ング ング レポート課題 50	0	等価演算 論理和文 do文文 while文 for文 型 多 繰が 繰が 繰が 繰が ポートフ	と関係 注 は	演算子が理解できます。 実際の問題を制 ートが理解し、 「ヤートが理解し、 「ヤートが理解し、 「ーチャートが理解し、 「の組み合わせを関する。 しょう はい	える きさる 野決に応用できる 応用できる 応用できる を用できる と用いたプログラム と用いたプログラム
前期 評価割る 整礎的能 專門的能	合 割合 力	7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	繰り返し 繰り返し 繰り返し 構造化プログラミ 構造化プログラミ	ング ング		等価演算 論理和と記 do文とフに をかけにと文フに 多繰り返解でしても がはないである。 の文とフに 多繰り返解でしても がは、 でで、フにである。 がは、 ので、できます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でで、ここでもできます。 でい、ここでもでもできます。 でい、ここでもできます。 でい、ここでもでもでもでもできます。 でい、ここでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	と関係 注 は	寅算子が理解できる     理解できる     実際の問題を角     ートが理解し、     ートが理解し、     ートが理解し、     ・サヤートが理解し、     ・ケートが理解し、     ・ケートを表しまする。 <t< td=""><td>える きさる きる 解決に応用できる 応用できる 応用できる を用できる を用いたプログラム を用いたプログラム</td></t<>	える きさる きる 解決に応用できる 応用できる 応用できる を用できる を用いたプログラム を用いたプログラム